

公表

令和7年度 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センターしんほんまち「あゆみ」				公表日	2026年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		訪問支援専用の教具教材は用意していませんが、児童発達支援「あゆみ」でのお子さんの様子を踏まえて訪問先施設での支援に活用できると思われるツール等を持参し、具体的なやり方を伝えていきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		適切に配置しています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		しています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		評価表でのご意見を受けて業務改善に向けた見直しをしていこうと考えています。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		常に意見を出し合いながら改善に努めています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		第三者による外部評価は行っておらず、今後については検討していこうと考えています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		職員それぞれに必要な研修を受ける機会を作っています。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		児童発達支援「あゆみ」での支援計画をもとに作成しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		お子さんを中心とした支援を検討しています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		2		訪問先施設の担当者様との連携は図っていますが、訪問先施設や担任等の意向は十分に反映されていないです。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援計画に沿った支援を行っています。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		気になることがあればすぐに職員間で共有し、必要な情報収集をしています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		保育所等訪問支援ガイドラインに沿った支援計画の作成をしています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援計画に沿った支援を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		事前に児童発達支援「あゆみ」での様子や今後の支援の方向性についてクラス職員と確認し、ご家庭や保育園等での生活全体を意識した訪問先での情報共有や助言ができるようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		支援終了後は訪問先施設の担当者様との共有内容や訪問先施設でのお子さんの様子などについてクラス職員と共有し、児童発達支援「あゆみ」での支援につなげています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問先施設の先生方の思いや環境に応じた助言や支援の共有をしています。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		訪問時は毎回記録を取り、支援の検証・改善につなげています。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		定期的に保護者との面談をし、意向の確認をしています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		必要に応じて連携をとっています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		引継ぎシートを作成して保護者に渡し、可能であれば支援会等への参加をしています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		定期的に外部のスーパーバイザーを招いてケース会を行い、アドバイスをもらっています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	2		児童発達支援管理責任者検討会に検討委員として参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		児童発達支援「あゆみ」で連絡帳や送迎時にその日の子どもの様子を伝えあい、共通理解を持てるように努めています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		児童発達支援「あゆみ」での年間計画に沿って勉強会の機会を作り、保護者の皆さんにご案内しています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時にできる限りわかりやすく説明しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		できるだけ丁寧な説明を心がけています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		丁寧に説明し、保護者の同意を得たうえで支援計画の作成をしています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		丁寧に説明し、保護者の同意を得たうえで支援計画の作成をしています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		保護者からの相談にはできるだけ迅速に対応しています。また、保護者の様子を見ながら必要に応じて「あゆみ」からも声をおかけしています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		児童発達支援「あゆみ」にて保護者同士で交流する機会を作っています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		できるだけ迅速かつ適切に対応するようにしています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		児童発達支援「あゆみ」にて月1回広報誌の発行をしています。保育所等訪問「あゆみ」での発信はしていません。	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報について十分に配慮しながら取扱いをしています。		
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		お子さんやご家族それぞれに合わせた伝え方を心がけています。		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		訪問先施設からの相談等があればすぐに応じ、必要な助言や支援をしています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		訪問先施設からの希望に応じて随時行っています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		ご家族と面談をし、訪問先施設での様子や担当者様との共有内容等について報告をしています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報について十分に配慮しながら取扱いをしています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		訪問先施設での支援を尊重しながら相談等を伺い、訪問先施設の環境に応じた具体的な手立ての助言をしています。	

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		児童発達支援「あゆみ」にてマニュアルの整備をし、毎月の訓練の実施をしています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		児童発達支援「あゆみ」にて月1回、地震・火災・風水害を想定した避難訓練をしています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		児童発達支援「あゆみ」にて定期的に会議を開催し、事業所内での共有や必要な手立てについて話し合っています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		児童発達支援「あゆみ」にて定期的に虐待に関する研修等をし、虐待防止の意識づくりをしています。また、虐待につながるような関わりをしていないか自分や周りの支援を振り返る機会を作っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		契約時に身体拘束や虐待についての児童発達支援センターしんぼんまち「あゆみ」の姿勢を説明しています。現在のところ身体拘束を行わなければならない状況になるお子さんはいません。	